

社会福祉法人 大田幸陽会
平成27年度 法人本部 事業報告

1 評議員会の開催

第1回	平成27年5月26日(火)	審議件数6件	報告件数5件
第2回	平成27年10月26日(月)	審議件数4件	報告件数7件
第3回	平成28年3月28日(月)	審議件数8件	報告件数6件

2 理事会の開催

第1回	平成27年5月26日(火)	審議件数8件	報告件数6件
第2回	平成27年10月26日(月)	審議件数4件	報告件数8件
第3回	平成27年12月8日(火)	審議件数4件	報告件数2件
第4回	平成28年2月4日(木)	審議件数4件	報告件数2件
第5回	平成28年3月28日(月)	審議件数8件	報告件数6件

3 規則、規程等の制定施行及び改正等：25件

- (1) まごめ園運営規程一部改正(平成27年6月1日施行)
- (2) 給与規程一部改正(平成27年4月1日施行)
- (3) 契約職員就業規則一部改正(平成27年4月1日施行)
- (4) 非常勤職員就業規則一部改正(平成27年4月1日施行)
- (5) 事案決定規程一部改正(①平成27年4月1日施行・②平成27年11月1日施行)
- (6) 給与規程一部改正(平成27年10月1日施行・平成29年4月1日施行)
- (7) 障害者生活ホーム運営規程一部改正(平成27年11月1日施行)
- (8) 嘱託職員就業規則一部改正(平成27年9月1日施行)
- (9) 旅費規程一部改正(平成28年1月1日施行)
- (10) 資格取得奨励金支給要綱制定(平成28年1月1日施行)
- (11) 大田区内転入助成金支給要綱制定(平成28年1月1日施行)
- (12) 個人情報保護規程全面改正(平成27年12月1日施行)
- (13) 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針(平成27年12月1日制定)
- (14) 特定個人情報取扱規程制定(平成27年12月1日施行)
- (15) 就業規則一部改正(平成28年1月1日施行)
- (16) 嘱託職員就業規則一部改正(平成28年1月1日施行)
- (17) 契約職員就業規則一部改正(平成28年1月1日施行)
- (18) 非常勤職員就業規則一部改正(平成28年1月1日施行)
- (19) 就業規則一部改正(平成28年3月29日施行)
- (20) 契約職員就業規則一部改正(平成28年4月1日施行)
- (21) 非常勤職員就業規則一部改正(平成28年4月1日施行)
- (22) 給与規程一部改正(平成28年4月1日施行)
- (23) 相談支援室さんさん幸陽運営規程一部改正(平成28年4月1日施行)

(24) 法人事業企画調整室設置要綱一部改正（平成 28 年 4 月 1 日施行）

(25) 事案決定規程一部改正（平成 28 年 4 月 1 日施行）

4 組合登記令による法人登記

資産総額 1,550,446,589 円⇒1,529,063,210 円 平成 27 年 5 月 28 日登記

5 職員等の採用・退職状況

	合計(全体)	正職員	嘱託職員等	契約職員	非常勤職員
施設長等の採用	0	0	0		
職員採用	48	15	0	7	26
採用計	48	15	0	7	26
施設長等退職	2	0	2		
職員退職	21	9	0	2	10
退職計	23	9	2	2	10

6 昇格選考

・平成 27 年 12 月 19 日（土）10 時～筆記試験・13 時～面接試験

区 分	3 等級昇格試験	4 等級昇格試験
A 有資格者	19 人	1 人
B 受験申込者	4 人	1 人
C 受験率	21.1%	100.0%
D 受験者	4 人	1 人
E 合格者	3 人	1 人
F 合格率 (E/D)	75.0%	100.0%

7 平成 27 年度重点目標 1) から 7) に対する取り組み実績

1) 利用者の人権擁護と地域の中での自立支援

① 区内を 3 つのエリアで分けた相談支援の連携体制づくりの試行

・さんさん幸陽を中心に、相談支援員を効果的に兼務配置する 3 エリア体制を試行。相談支援員 3.8 名体制（さんさん 3 名、各拠点の兼任相談員 8 名常勤換算 0.8 名）の下、契約者総数 386 件、延べ 783 件（新規契約 142 名、継続支援 474 件、モリツグ 167 件）の計画相談をやり切る。目標（27 年度末までの 3 か年で当法人通所利用者のすべての方へのサービス等利用計画作成）を達成した。

② 専門職員以外の視点でサービスチェックを重層的に行う体制の検討実施

- ・グループホームの会計点検を監査委員 4 名と事務系役職者 3 名の連携による体制で重層化を一部実現した。次期継続。
- ・のぞみ園で、利用者と苦情解決第三者委員との懇談会を 3 月 31 日実施し、利用者が何でも相談ができる雰囲気作りに取り組んだ。拡大実施に向ける。
- ・外部の視点でのサービスチェック体制については 28 年度に引き継ぐ。

③人権及び虐待防止に関する研修の実施

事業所 内部研修・外部研修

合計 : 38回 ・ 21回

のぞみ園 : 3回 ・ 2回

まごめ園 : 1回 ・ 2回

さわやか : 1回 ・ 1回

しいのき : 2回 ・ 1回 (うめのき園・生活実習所・はぎなか園・しいのき園合同研修会)

新井福祉園 : 7回 ・ 4回

池上福祉園 : 2回 ・ 4回

大森東福祉園 : 2回 ・ 4回

生活ホーム : 16回 ・ 3回

つばさホーム : 1回 ・ -

ケアサポート幸陽 : 1回 ・ -

さんさん幸陽 : 2回 ・ -

2) サービスの質の向上と人材育成

① 「サービス提供ガイドライン」の継続整備と活用

虐待防止人権 PT が中心となり人権 PT 代表者会議を開催。ガイドラインの自己点検活動に取り組む。2月末、各事業所がサービスの自己点検に取り組んだ結果を事業計画等に反映した事業所もある。各事業所間の取り組みにバラツキが見られたので、この自己点検サイクルが「実践！大田幸陽会方式」として定着することを目指し、継続する。

② コア人材倍増計画の目標達成状況

3等級4等級のコア（中核）人材が下表のとおり、平成24年度の23名から27年度の46名へと倍増目標を達成し、法人事業を推進する中核層が確実に厚くなってきている。次期、国家資格取得奨励に方向を切り替える。

	H24		H25		H26		H27	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
合計人数・%	123	100.0%	133	100.0%	142	100.0%	144	100.0%
管理職	11	8.9%	11	8.3%	12	8.5%	12	8.3%
4等級	11	8.9%	14	10.5%	16	11.3%	18	12.5%
3等級	12	9.8%	20	15.0%	24	16.9%	28	19.4%
2等級	35	28.5%	50	37.6%	52	36.6%	49	34.0%
1等級	54	43.9%	38	28.6%	38	26.8%	37	25.7%
	23	18.7%	34	25.6%	40	28.2%	46	31.9%
	89	72.4%	88	66.2%	90	63.4%	86	59.7%

③ 全体研修会、事例検討、階層研修を通年実施し「伴走型」人材育成を推進

○第13回法人職員全体研修会を7月11日（土）大田幸陽会会館で開催

テーマ「地域生活支援の実践～実践知の復権」

出席：総計177名（職員163名、法人関係14名）

永年勤続表彰職員：9名

○実践報告：2例

「さわやかワークセンターの支援の考え方について」高齡化と就労支援

「利用者の将来に向けた支援～平成26年度事業計画重点目標～」

○事例検討会：17事例（就労系6・生活介護系6・地域生活系5）

参加職員133名・世話人17名

○山崎理事講評：私たちが目指すものは一人一人のかけがえのない「命」に

仕える、つながり合う「命」の支援である

○事例検討会：全体研修会の17事例を9月と11月に継続検討した。

山崎理事の助言を受けながら進めている重点活動

1回目：7月11日全体研修会で17の事例検討班を実施、133名世話人17名

2回目：9月1日（1～6班）、9月8日（7～12班）、9月15日（13～17班）

124名世話人17名参加

3回目：11月9日（1～6班）、11月10日（7～12班）、11月17日（13～17班）

124世話人17名参加

他、世話人勉強会、世話人振り返り会を開催した。

3・4等級支援員は、事例検討会世話人もしくは司会者を担い、2等級支援員を事例提供者や司会役に選出する等の実践的育成を図った

○階層別研修：実施結果は次の通り

中野理事を講師に、法人の歴史・大田区知的障害者育成会の歩みを継承する研修を、コア職員対象に企画実施した。

	講座1	講座2	事例検討会
3・4等級	○法人の歴史 講師：中野理事 9/18：42名他施設長等9名	○問題解決技法3回 （ロジカルシンキング） 講師：久保田義徳氏 （株）川原経営総合センター 10/27：43名 12/1：42名 2/2：42名	○事例検討会 7月11日 法人職員全体研修会 事例検討17班 ○通年実施124名 1～6班 9/1・11/9：40名 7～12班 9/8・11/10：53名 13～17班 9/15・11/17：31名
3等級 27年度 昇格者	○リーダーシップと組織管理1回 ○コーチングとコミュニケーション1回 ○SWOTクロス分析3回 講師：研修委員長 4/22,4/30,5/12,7/28,9/7：7名		
2等級	○「パニックをゼロにする12の方法」講師：山田由美子氏 NPO法人サポートひろがり代表 10/6：20名、10/7：25名	○チームビルディング 講師：支援係長2名 10/13：44名	
1等級 契約職員	○「支援力」講師：山田由美子氏 NPO法人サポートひろがり代表 10/20：48名		
新任職員	○「交流研修」採用時研修フォローアップ 世話人：支援係長・主任 10/1：17名		

- ④ サービス管理責任者・相談支援専門員・実習指導担当者の各資格所持者を事業所毎に複数配置ができるよう計画的に講習受講を推進する
平成 27 年度の受講実績
○サービス管理責任者 4 名受講：まごめ・新井宿・池上・大森東
○相談支援専門員 6 名：のぞみ・さわやか・新井宿 2・池上・大森東
○実習指導担当者 該当無し
- ⑤ 職員の社会福祉士等国家資格取得を奨励する制度の検討・創設等によりキャリアパスの充実と複線化を図る
制度創設を実現した。平成 28 年 1 月の試験合格者は 4 名であった。
内訳：社会福祉士 2 名、介護福祉士 2 名
また、調査結果から今後国家資格取得を目指して行きたい職員が 27 名いることが分かったので、次年度の育成面談等でフォローをしていく。
- ⑥ 処遇改善制度の運用方法を見直し改善する
5 月理事会で給与規程一部改正を行い、管理職手当との併給を取りやめるなどの支給方法見直しを実施した。
- ⑦ 28 年度採用学生の受入体制を整備する
○4 月中に新任研修を 5 回（1 日、6 日、7 日、13 日、14 日）開催し、15 名の対象職員に最初の円滑な導入を図り、10 月にフォロー研修を実施した。
○12 月理事会で大田区内転入助成金支給要綱を制定し、区内転入を希望する採用（内定）学生の受入体制を整えた。
- ⑧ 目標チャレンジシートの運用見直しと管理職研修実施
28 年度の課題として、継続検討する。
- ⑨ 今年度の福祉サービス第三者評価受審事業所と結果の法人 HP 公表
さわやかワークセンター（特定非営利活動法人 NPO 人材開発機構）

3) 安全安心な事業所運営

- ① 法人共通の「危機管理マニュアル」を整備し活用する
サービス向上 PT で平成 25 年度版のマニュアルを見直し、文言やチャートの整理を進めた。27 年度版の整備が完了次第、次年度となるが、その周知と活用を図る。
- ② 防災訓練・災害時想定訓練を
・事業所毎に計画実施した。まごめ園、しいのき園、さわやかワークセンターは、地域の防災訓練に参加した。
・池上福祉園は、非常災害時の福祉避難所体験訓練を 3 月 18 日から翌日にかけて宿泊で実施（利用者・保護者各 13 名、職員 17 名、計 43 名参加）。
・障害者生活ホームは、夜間の地震想定一斉防災訓練を 3 月 2 日実施（利用者 26 名、世話人 5 名、職員 8 名、計 39 名）した。

4) 地域社会との連携・交流並びに地域貢献の取り組み

- ① ボランティアの年間受入延べ人数 1,999 名

のぞみ園（133名）、まごめ園（168名）、さわやか（48名）、しいのき（137名）、新井宿福祉園（747名）、池上福祉園（164名）、大森東福祉園（602名）

② 福祉実習学生を積極的に受け入れ福祉人材育成に貢献する

法人全体で年間延べ120名・900日の福祉人材育成に貢献した。

主な実習名	のぞみ	まごめ	さわやか	しいのき	新井宿	池上	大森東	合計
社会福祉士 養成実習等	1名 23日	2名 33日	2名 35日	6名 97日	8名 136日	5名 104日	3名 72日	27名 500日
教職員 介護等体験	3名 15日	6名 30日	—	8名 40日	9名 45日	13名 65日	13名 65日	52名 260日
人事院 介護等実地	3名 15日	3名 15日	—	—	—	9名 45日	—	15名 75日
その他福祉 実習等	1名 6日			2名 24日	2名 14日	—	—	5名 44日
東社協福祉 現場体感ツ アー・セミナー	2/26 11名 延11日		12/10 10名 延10日					2回 21名 延べ21日
合計	19名 70日	11名 78日	12名 45日	16名 161日	19名 195日	27名 214日	16名 137日	120名 900日

③ 移動支援従業者養成研修事業の開催と福祉人材養成

第1回（9月）：応募者が集まらず開催中止する

第2回（3月）：定員20名を超過する申込があり、満員御礼で実施した。

この成果は社会貢献PTが次の3項目の見直し結果を実行したことによる。

・参加費用の無償化、・宣伝チラシ・ポスターの作成、・広域配布

また、受講修了者から**3名のヘルパー登録**があった。

④ 地域と一体になった施設祭りの開催等福祉コミュニティ形成への貢献、施設機能の開放・広報活動・地域交流等の取り組み

のぞみ園

- ・いつつのわふれあい祭り（大森東地区自治会連合会主催行事）への参加
- ・いつつのわ幸陽祭（大森東地区5自治会、民生委員・児童委員協議会、青少年対策委員会等との実行委員会を形成）
- ・大田区民生委員児童委員協議会障害福祉部、田園調布地区同協議会見学会の受け入れ
- ・東社協福祉人材センターの福祉現場体感見学ツアー協力 1回
- ・自主生産品販売：ふれんど（大田区役所内）、カフェびあ（障がい者総合サポートセンター）、ティーラウンジすばる（大田文化の森）
- ・中学生サマーボランティア受け入れ（大森第一中学校生徒延べ8日）

まごめ園

- ・地域力推進馬込地区委員会の関係団体に加盟し、施設長が定例参加

- ・馬込文士村大桜まつり、登志子地藏まつり参加
- ・馬込地区大盆踊り大会参加
- ・馬込九町会合同防災訓練参加
- ・中馬込老人いこいの家（社会福祉法人有隣協会受託施設）と利用者訪問による交流
- ・馬込文化センター祭り、雪谷文化センター祭りへの参加
- ・第 22 回まごめ幸陽祭に向けて、地域の方々（アトラクションへ出演の方々）との交流。
- ・馬込中学校の職場見学受け入れ（5名）
- ・洗足池 春宵の響に参加

さわやかワークセンター

- ・蓮沼ふれあい祭への参加(福祉バザー・模擬店出店・テント設営手伝い)
- ・樹林館(近隣障害者支援施設)との合同行事(花見会) 1回
- ・新年会(地域町会合同) 1回
- ・就労を祝う会 1回
- ・東社協福祉人材センターの福祉現場体感見学ツアー・セミナー協力 2回
- ・コミュニティスペース「茶和や」の開設と運営
- ・地域パトロールへの参加
- ・おおたスマイルプロジェクトの「レインボープロジェクト（一人親家庭の子どもへの体験型の学習支援・社会貢献事業）」へカフェコスモとして参加、クリスマスメニューの提供

しいのき園

- ・8月 施設祭り
- ・12月 糺谷小学校4年生施設見学・体験受入
- ・糺谷地区福祉施設連絡会 出席（年4回）
- ・施設開放準備：1月施設開放PT設置、新年度の施設開放事業開始に向けて検討。
2月～3月近隣事業所にPR。

新井宿福祉園

- ・新井宿地区民生委員児童委員協議会との作業交流
- ・子どもガーデンパーティー企画参加
- ・大森第三中学校運動交流会
- ・大森第三中学校生徒の園祭ボランティア受け入れ
- ・入新井第二小学校事業所見学、作業体験
- ・福祉強調月間期間中の入新井第二小学校での利用者作品展示
- ・大田文化の森秋祭りにおける利用者作品展示
- ・新井宿連合自治会夏まつりテント設営手伝い
- ・自主生産品販売：新井宿特別出張所、カフェびあ（障害者総合サポートセンター内）、
ティーラウンジすばる（大田文化の森内）
- ・中高校生の職場体験受け入れ（都立大森高校3年生9日／大森第三中学校2年生6日）

池上福祉園

- ・地域公開セミナー開催（H27.10.29）「ファミリーサポートについて」

法人内外の利用者保護者、施設職員、事業所関係者など 70 名の参加者。

- ・池上地区民生委員児童委員協議会の販売協力で「寄っていけいけマーケット」（園玄関前で
の販売活動）を年 3 回実施。
- ・池上地区子どもガーデンパーティーへの外販参加
- ・青少年対策池上地区委員会主催の地域ふれあいコンサートへの出演および観覧
- ・池上地区の地域活動団体「なでしこの会」と共同で花壇の水やりを実施
- ・「いけいけハートフルフェスタ」の開催（民生委員・児童委員協議会、青少年対策委員会等との
実行委員会による）
- ・自主製品販売：ふれんど（大田区役所内）、カフェぴあ（障がい者総合サポートセンター）
- ・池上地区まちおこしの会と共同開発「梅皿」を陶芸作業で製作
- ・中高校生職場体験受け入れ（都立大森高校 9 日／安方中学・東調布中学 12 日）
- ・中学生サマーボランティア受け入れ（3 日）

大森東福祉園

- ・大森東一丁目団地祭への参加（映画上映会開催・模擬店出店・テント設営手伝い）
- ・大森東小学校 2 年生および 4 年生との交流会
- ・地域交流行事（人形劇・もちつき会）の開催
- ・大森東一丁目団地 6 号棟の空き缶回収および回収時のゴミ集積場清掃
- ・大森東一丁目自治会への空き缶回収

つばさホーム前の浦

- ・いつつのわふれあい祭り（大森東地区自治会連合会主催行事）への参加
- ・いつつのわ幸陽祭（大森東地区 5 自治会、民生委員・児童委員協議会、青少年対策
委員会等との実行委員会を形成）
- ・社福）大洋社ひまわり苑との交流：夏祭り・餅つき大会

ラナハウス西糺谷・障害者生活ホーム

- ・地域合同防災訓練に参加（5 ホーム×1 回） 合計 5 回
- ・糺谷地区福祉施設連絡会参加（4 回）
- ・西糺谷二丁目町会災害時要援護者委員会×3 回
- ・無料の「健康・生活相談会」年間 12 回開催延べ 26 名利用：対象ラナハウス居住者

5) 法令遵守・情報開示

- ① 社会福祉法人の在り方検討を踏まえた法人経営情報の開示を
法人ホームページおよび社会福祉法人全国社会福祉協議会の全国社会福祉法
人経営者協議会ホームページ上で行った。
- ② マイナンバー制度の導入に対応した個人情報保護体制の見直し進め、2 月理
事会で個人情報保護規程の全面改正及び特定個人情報の適正な取扱いに關す
る基本方針並びに特定個人情報取扱規程の制定を行った。

6) 法人単位の経営基盤強化

- ① 理事会を補佐する執行委員会を創設した（3回開催）
- ② （仮称）西糶谷グループホーム事業
 - ・入札（一般競争入札）平成28年1月20日実施：2社参加
 - ・契約締結2月4日：三ツ木建設工業(株)
 - ・工期2月5日～6月7日（事業開始7月1日）
- ③ 新会計移行に伴う会計システム変更と会計顧問導入による的確な対応
月次会計点検会を通年で実施し、新会計システム移行に取り組んだ。
- ④ 事業所間インターネット通信網のセキュリティ強化と導入研修の実施
情報管理PTで法人全職員を対象に「情報漏洩防止対策研修」を導入研修として12月に3回実施し、意識付けを強化するところから取り組んだ。
- ⑤ 次期中長期計画の策定 及び 多機能事業の経営分析と事業展開の検討
倍増してきた中核職員全員参加による「法人事業推進PT体制」を7月6日発足させ、特命3PT・常設8PTにより、次期中長期計画の課題を検討し、報告書を提出した。

8 リスクマネジメント

担当のサービス向上PTより「皆さんの気づき（=ヒヤリハット）が明日からの支援に生かされます」を10月通知し、リスク集計の目的とデータの活用について職員への啓発を行った。経営会議において「事故・ヒヤリハット」を月次報告した。年間集計結果は、下表のとおり。

事業所名	年間件数	リスクレベル				
		1	2	3	4	5
のぞみ園	234	159	73	2	0	0
まごめ園	38	4	19	11	3	1
しいのき園	66	8	49	7	1	1
さわやか	27	5	12	7	2	1
新井宿	89	16	62	11	0	0
池上	122	13	70	39	0	0
大森東	105	32	55	16	2	0
つばさ	53	13	12	26	2	0
生活ホーム	27	2	14	3	5	3
ケアサポート	24	8	10	4	1	1
ラナハウス	1	0	0	0	0	1
合計	786	260	376	126	16	8

レベル1 実際に事故にはならなかったが、ヒヤリとした事例。

2 事故が発生したが、人的・金銭的・社会的な損害が無かったか非常に軽微な事例。

3 損害が発生したが、事業所内で完結した事例。

4 損害が発生し、事業所外（医療機関・警察等）の協力を求めた事例。

5 救急対応もしくは重大な事故の事例。

- 9 寄附の受領 法人全体 7件 4,740,000円
 本部 4件 1,900,000円

(1) 一般社団法人大森倶楽部 理事長 平林義彰 様	大田区	1,000,000 円
(2) 河野 桃弘 様	横浜市	400,000 円
(3) 社福) 大田幸陽会後援会会長 松原茂登樹 様	大田区	300,000 円
(4) 大田区知的障害者育成会会長 佐々木桃子 様	大田区	200,000 円
まごめ園	2 件	40,000 円
(1) 大森聖アグネス協会 様	大田区	30,000 円
(2) 高瀬 幸男 様	大田区	10,000 円
障害者生活ホーム	1 件	2,800,000 円
(1) 豊田とみ 様 (故大塚様親族)	川崎市	2,800,000 円

10 会議等の開催

- (1) 執行委員会 3回 (5月、6月、11月)
- (2) 経営会議 12回 (毎月)
- (3) 法人事業推進 PT (活動期間：7月～3月)
- ①特命) 採用戦略 PT (8回) ②特命) 新規事業地域展開 PT (3回)
- ③特命) 社会貢献企画 PT (7回) ④ 地域生活事業連携 PT (10回)
- ⑤ 社会貢献推進 PT (8回) ⑥ サービス向上 PT (9回)
- ⑦ 虐待防止・人権 PT (5回) ⑧ 研修体系検討 PT (6回)
- ⑨ 権利擁護推進 PT (9回) ⑩ 情報管理 PT (12回)
- ⑪ 財務会計一元化 PT (5回)
- (4) 事務担当者連絡会 5回 (6月、7月、10月、12月、2月)
- (5) 支援係長主任連絡会 10回 (8月と11月を除く毎月)
- (6) 看護師連絡会 4回 (4月、6月、11月、2月)
- (7) 研修委員会 12回 (8月以外毎月開催、7月2回開催)
- (8) 給食運営委員会 4回 (5月、8月、1月、3月)
- (9) 経営改革検討会
- ・トータル人事制度構築に関するコンサルティング 12回 (毎月)
 - ・人材育成研修の企画と実施：問題解決技法 (ロジカルシンキング) 研修
3回 (10月、12月、2月)
- (10) 財務会計月次点検 10回 (6月以降毎月)

以上